

Q59. 手根管症候群は、手術しても再発するのでしょうか？

A.

透析アミロイドーシスの代表的な症状のひとつとして手根管症候群があります。手首の関節の手のひら側近くに、靭帯と骨に囲まれたトンネル状の神経や腱の通路があり、これを手根管といいます。この中には正中神経が通っており、この手根管の腱や靭帯（横手根靭帯）などにアミロイドが沈着し正中神経を圧迫することにより、この神経が支配している主に親指から中指にかけてしびれや痛みが出現したり、手のひらの親指の付け根あたりの筋肉（拇指球筋）が萎縮したりします。

治療としては、手術でこの横手根靭帯を切断し、神経の圧迫を取る手根管開放術を行いますが、劇的に症状が改善することもよくあります。しかし、その後徐々に手根管周辺にアミロイドが再び沈着し、再発する場合があります。再発する時期は前回行った手術の切除範囲によっても影響されますが、再発した場合は再手術をすることもあります。

医師